

令和元年度村上地域区長会連絡協議会要望事項回答

1 市内全域の側溝清掃を行政で対応することについて

昨年度、本件要望に対しては、「地域によっては側溝清掃が困難となっており、業者に委託するケースも増えていることは認識」し「将来的には、住民による清掃が難しくなり堆積土砂による溢水や悪臭など市民生活に支障をきたすことが考えられますので、今後の対応策を検討」していく旨の回答をいただきました。

ただ「膨大な側溝延長となるため多額の予算が必要となること」等から、これまでどおり各町内での対応をしていただきたいとの説明もありました。行政の立場も理解はできますが、高齢化は今も進行しています。また、業者委託をする際の費用も各町内にとっては、大きな負担となっています。

行政で対応できるまでの間の策として、各町内が業者委託をする費用に対しての補助金制度の創設をお願いいたします。

【回答：建設課】

ご要望のあった側溝清掃に対する補助金の創設につきましては、将来的な支援策のひとつとして、研究を進めているところです。しかし、実施に向けては多くの課題や調整事項があるため、それらを整理しながら制度化の可否について判断したいと考えております。

なお、今後につきましては、ご町内での環境美化活動の現状などについて、聞き取りさせていただきたいと考えておりますので、その際にはご協力いただきたくお願いいたします。

2 空き家とその土地周辺対策について

市内には、長期間、所有者不在の空き家・空き地があり、管理が行き届かず雑草が生い茂って荒れ放題となっている場所が見られます。観光地を標榜する村上市にとって見苦しく、また、近隣住民にとってもゴミの不法投棄や害虫の発生元になる等、大きな問題となっています。

町内会として対応しようとしても、個人情報保護という点から十分な情報を提供してもらえないことも多くあり、苦慮しています。

土地所有者に対して、適切な管理の徹底を指導するよう要望します。

【回答：市民課】

空き家については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「村上市空き家等の適正管理に関する条例」に基づいて、所有者等に適切な維持管理に努めていただくよう助言・指導を行っております。

十分な対応がなされている空き家等は決して多くはないのが現状ではありますが、

今後も町内会等と連携を図りながら、空き家等の管理に対する責任意識が失われないよう、そして空き家等の管理が適正になされるよう、所有者等に対し適切な助言・指導を行ってまいります。

3 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項について

平成28年度に登録されました『みなとオアシス越後岩船』は、岩船地区から瀬波温泉地区までの海岸線に位置し、「岩船港緑地」・「岩船港直売所」・「粟島汽船営業所」・「岩船港海岸（岩船海水浴場から瀬波海水浴場までの海岸）」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれており、地元でも各種イベントの開催や、昨年度国土交通大臣表彰を受賞した一斉清掃などの環境美化活動にも力を入れております。

諸上寺公園は、春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても知られておりますが、頂上に設置されているトイレは老朽化し、道路沿いに植樹された桜の木も十分な管理が行われておらず枯れ始めた木も見受けられます。

トイレは観光振興の面からも、欠くことのできない施設でありますので建て替えを要望するとともに、諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また、『村上市スケートパーク』に隣接する旧市民会館は老朽化し閉鎖されておりますが、『村上市スケートパーク』のオープンにより旧市民会館一帯は観光においても地域内外の人々の交流の場としてもますます重要なスポットになりました。

そこで、旧市民会館跡地に新たな遊具を設置し『いこいの森児童公園』と一体化した家族が無料で楽しめるエリアとして、また、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地に日本海を一望できる休憩所を整備するなど、岩船地区と瀬波温泉地区の賑わいを創出し、『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

【回答：環境課・観光課・生涯学習課】

諸上寺公園の桜に関しましては、新潟県森林研究所様よりご指導をいただき、昨年より折れた枝への薬剤散布を実施、また一部となりますが、下刈り等を行うことで維持管理に努めております。なお、植樹に関しましては、計画的な取り組みが必要であると考えられますので、関係機関も含めて検討していきたいと考えております。

既設のトイレは平成10年度に設置されたものであり、20年を経過しておりますが、大変きれいにご利用いただいております。トイレの建て替えにつきましては、全体計画の中で検討してまいりたいと考えております。

なお、緊急の修繕に関しては随時対応させていただく等、今後も適切な維持管理に勤め、皆様が快適にご利用できますよう努力してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

旧船員保険寮及び旧村上市老人ホーム跡地を含めた旧市民会館及びいこいの森児童公園一帯につきましては、瀬波温泉とも隣接し、本市の主要な観光スポットとしての活用が期待できます。村上市スケートパークも4月にオープンし、県内外から多くの皆様に利用いただいております。施設の利用拡大とともに、周辺エリアの有効活用を関係機関等と連携して検討してまいります。

4 環状3号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状3号線については、当地区ばかりでなく、他地区からも要望が長年にわたり出されており、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられ、重要な路線となっております。

しかしながら、同路線に大きい影響を及ぼす村上総合病院の移転開院時期も示され、昨年の回答では、「県には松山バイパスを最優先で事業を進めていただいて」いるが、「事業期間等は未定である」ということでした。この松山バイパスは、予定では瀬波温泉トンネル出口付近につながる予定でしたが、その後、一部変更となり、交差点の形状の関係で、集落住宅地の中を通り、国道345号につながる計画が松山の地権者に示され、その結果反対者が出ていると聞いています。

県が計画している松山バイパス道路を予定どおりの瀬波温泉トンネル出口付近にするためには、環状3号線を事業化してもらい、実施年度などの事業計画を示す必要があると思われまます。

この懸案事項である環状3号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を強く要望いたします。

【回答：建設課・都市計画課】

都市計画道路「環状3号線」につきましては、ご承知のように瀬波小学校方面からの街路事業は平成10年に完了しており、平成15年には瀬波温泉トンネルが開通して16年ほど経過しております。

これまでの間、地域住民の方々をはじめ、市といたしましても、県には強く要望活動を行ってきましたが、なかなか進展しない状況にあります。

このような状況の中、移転新築する村上総合病院の開院が令和2年12月と表明されたことから、県には松山バイパスを最優先で進めていただいております。県では踏切から市で行う地区幹線道路までは、新病院開院に合わせ早急に整備する区間と位置づけ、現在田んぼ側の拡幅工事に着手するとお聞きしております。また、瀬波温泉トンネル出口付近の交差点形状につきましては、ご指摘の通り環状3号トンネル先線が事業化されていない現段階では、計画通りに施工すると現道と鋭角で交わる危険な交差点となり、警察から交差点から離れた位置で接合するよう指導を受けたことなどから現在の計画となっております。しかしながら、この集落住宅地を割り国道345号につながる部分は、将来、環状3号トンネル先線が事業化され一部供用開始されると、松山バイパスは当初

計画付近に延伸し交差点が設置されることになると考えております。その時は現在の国道 345 号からは進入できなくなるため、この接続部分が松山バイパスへ抜け交差点に進入するための重要な道路となる計画であります。したがって国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化につきましては、松山バイパス全線の整備後となり、現時点では目処が立っていない状況であります。松山バイパスの早期整備とともに、事業化に向けて引き続き要望してまいりますのでご理解をお願いいたします。

5 山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の改修について

山辺里体育館は、昭和 54 年 7 月の建築から 40 年余りが経過し、スレート屋根の剥離や老朽化による雨漏り、外壁や鉄骨の腐食・劣化・ひび割れ、内壁の損傷・汚れ、そして床の劣化などが顕著であり、また、給排水設備やトイレも利用できない状態です。

しかし、この体育館は地域内外のスポーツ愛好者の利用をはじめ、市内の各種団体及び工業団地等の事業所従業員など、子どもから高齢者まで多くの利用者があり、平成 30 年度には、利用件数 662 件、利用延べ人数 7,904 人（平成 29 年度：利用件数 662 件、利用延べ人数 8,052 人）という実績です。

また、毎年 4 月に開催している山辺里地区敬老会の会場としても地域に親しまれている施設であり、東日本大震災の際には、救援物資の保管施設として利用されるなど、村上農村環境改善センターと一体となった地域の重要な拠点施設となっております。

したがって山辺里体育館は、山辺里地区及び村上市のスポーツ振興、協働のまちづくりの推進、そして地域の安全・安心な市民生活のためには、必要不可欠な施設でありますので、早急な大規模改修または改築を強く要望いたします。（平成 29 年度から継続）

【回答：生涯学習課】

老朽化が進む山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の修繕については、その都度、指定管理者と協議しながら必要最小限の部分的な修繕にとどまっている現状です。

平成 25 年策定の「村上市スポーツ施設整備計画」では、廃校施設を活用している体育館については老朽化したものが多く、利用状況を見ながら可能な限り維持修繕を行い、多額な費用がかさむ場合は廃止も検討していくこととしています。

しかしながら、山辺里体育館は体育施設としてだけでなく、地域コミュニティ活動の拠点施設としての利用や災害時の避難所に指定されていることなども含め、地域にとって重要な施設であると認識しております。

現在、市内のスポーツ施設全体のあり方を含め、施設整備について検討を行っているところでありますので、その中で山辺里体育館の整備方針についても検討してまいります。

6 国道 345 号線の改良工事について

岩ヶ崎地内の市道滝の前岩ヶ崎線と国道 345 号線の交差点を基点とする前後 100 m の道路で、積雪時の事故が多発している状況を踏まえ、改良工事を要望します。

【回答：建設課】

ご要望の箇所につきましては、現場も確認させていただき、必要性については十分認識しているところでありますが、県からは改良事業が一旦終了しており、また、地形上の制約もあることから早期の事業化は難しいと伺っております。しかし起伏が大きく、カーブが連続している現在の形状は、道路利用者の安全面において満足できるものではありませんので、引き続き、安全対策のための道路改良工事を要望してまいります。